

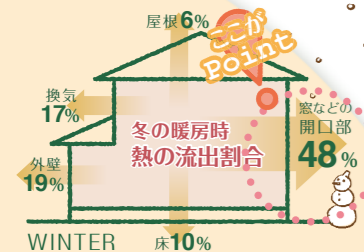


江別のみなさん、こんにちは。
早いもので、もう8月!。夏、真っ只中です。
暑い日は家の中に居ても、脱水症状を起こすことがあります。
外出時はもちろんのこと、家で過ごしている時も小まめな水分補給を心掛けましょう!
東京防災へ
防災準備を始めましょう!!
代表取締役社長 石崎 昭仁

サッシの交換

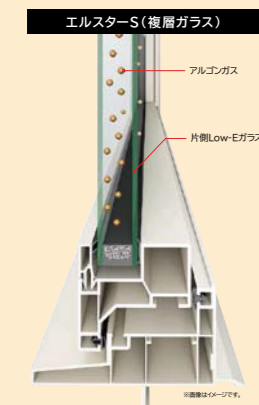
サッシの交換です。交換と言っても現在あるサッシに新しいサッシを取り付けするというLIXILの1dayリフォームです。

今回は外壁に手を加える事なしに、新しいサッシを取り付けする方法です。現在よく行われている方法は、外壁の一部を切断し、古いサッシを取り外して新しいサッシを取り付けるというものです。しかし外壁をカットしてとなると工事が大掛かりで、内部の壁部分にも一部工事が及んでしまいます。当然工事コストは高くなりますので、今回は内収めの方法を採用して



みました。色々確認したのですが、内側に収めると雨仕舞いの心配がありますが、今回はお客様ご希望の内収めの方法で工事をする事となりました。お客様(つねちゃん家)は、建築関係の広告デザイン&コンサルタントを業務としておられるので、お客様へのご提案用にご自宅のサッシを交換してみよう!!という事で、弊社が工事を請け負う事となりました。建物は32年程前のもので、樹脂サッシは出始めたばかりの圧着されていない障子を使っていました。

本来なら次世代住宅ポイントを使いたかったのですが、时期的にコロナウイルスなど色々無理があり次世代住宅ポイント終了後の、この時期となりました。しかし今回救済措置として次世代住宅ポイント制度【新型コロナウイルス感染症対応】と言うことで、4月7日~8月31日まで契約、工事着手した物件に対してポイントが付与(申請は20000P以上)される事となりました。採用したサッシはLIXIL社製のエルスターSというサッシです。トリプルガラスのエルスターXも検討しましたが、やはりガラスのメンテナンスコストを考え、また費用対効果を考えた場合、一般的にオススメという話にはなりづらいという事から、採用を見送りました。エルスターXは、ZEH対応など高断熱住宅ではオススメのサッシです。



日射熱を採り込むなら Low-Eクリア
日射熱を抑えるなら Low-Eグリーン



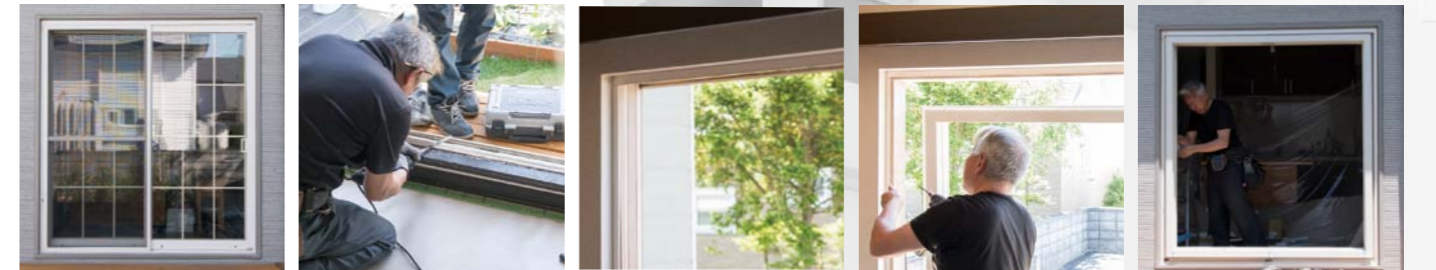
熱貫流率 W/(m ² K)	熱貫流率 W/(m ² K)
1.27	1.33
※3	※3

日射熱	日射熱
42%	49%
1.18	1.15
38%	51%
62%	49%

え、また費用対効果を考えた場合、一般的にオススメという話にはなりづらいという事から、採用を見送りました。エルスターXは、ZEH対応など高断熱住宅ではオススメのサッシです。エルスターSは高断熱ペアガラスを採用しています。今回は南側のサッシですので、暖房負荷を抑えるために、太陽光を多く取り入れる事のできるクリアのLow-Eガラスとしました。左図の様に、クリアはわずかにグリーンと比

較して断熱性能は落ちますが、日射の取得率が大きく、冬の太陽光を多く取り込み、冬季の暖房負荷低減(灯油消費量低減)を目的として選択しました。灯油など暖房にかかる費用の削減が期待できると言う考え方です。

この考え方は北海道で日照時間の長い地域には有効な手法です。地域としては、帯広などに有効な手法と言われています。江別の場合は11~3月までの平均日照時間は534時間です。ちなみに帯広は929時間です。帯広の58%程度の日照時間ですが、一次エネルギー消費量という考え方ですと、江別もやはり南側のガラスはクリアをオススメしたいと思います。



■施工前のサッシはアサヒガラ ■既存の樹脂サッシの unnecessary 部分をカットします ■サッシ枠の溝部分に下地材を取り付けます ■サッシ取り付け部に下地材を取り付けます ■サッシ枠の内側に新しい高性能樹脂サッシを取り付けます



■サッシの対角を確認します。この作業は非常に重要です。ひし形に出来ないように確認する作業です ■サッシの隙間にウレタンを充填します。あとは、既存の枠との隙間にアルミのカバーを取り付けコーキングをして終了です

■サッシ交換による断熱性能検証 (昭和55年旧省エネ基準のQ値は2.8です)

Qpex ver370 で試算	交換前	交換後	効果
UA値	0.55	0.54	0.01向上
Q 値	2.8>1.843	2.8>1.819	0.024向上
灯油消費量	1383ℓ	1360ℓ	23ℓ/年削減

1枚のサッシですが、断熱性能は向上しています。わずかではありますが、灯油消費量が年間23ℓ削減に繋がる計算です。笑っちゃうほど少ない結果ですが、快適性の向上は計りしれない物があると思います。この冬が楽しみです!!



を横に引く力が弱くなります。そこをカバーしてくれるのが、このアシスト取手です。

引き違い窓を開けるのに必要な最初の力を約40%削減でき、窓を開ける瞬間の力をテコの原理で補助してくれる優れたものです。サッシ自体、新品の時は楽に開け閉めできますが、経年変化と共に開けづらくなる事はどうしても仕方のない事です。そういう部分もカバーしてくれる事を期待して取り付けました。これで庭への出入りも楽になりますね!。また、冬のコールドドラフトの低減にも期待したいですね!。このサッシの効果検証は、来年の一月になりますので、HPで公開致します。もし窓まわりでお悩みがありましたら、是非ご参考にされてはいかがでしょうか?。



■内側から見た状況です。四方に化粧枠を取り付け、一業種で終わるように工夫しました